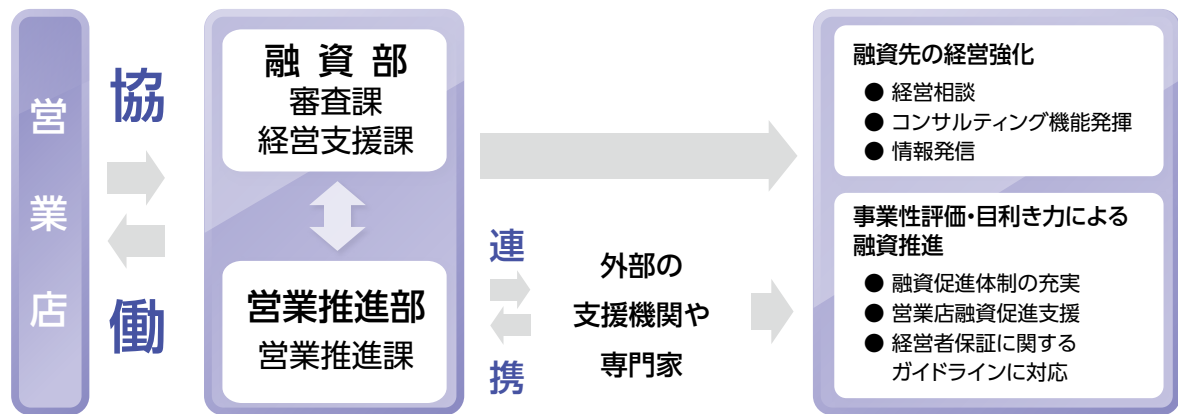


企業の活力を支援する取組み

当金庫では、企業経営のさまざまな課題についてお客様からの相談内容に応じて、財務改善を中心とした経営診断、経営計画等の策定などのお手伝いをいたします。また、信用保証協会、政府系金融機関や地元商工会と協調し、お客様と強固な信頼関係を構築いたします。より専門的な支援として、地元公認会計士や中小企業活性化協議会とも連携し、再生支援を行います。



中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み状況

2025 年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たすため、次のことを重点施策として中小企業の経営支援、地域経済活性化への貢献に積極的に取り組みました。

また、2016 年 9 月に金融庁から金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するための指標として「金融仲介機能のベンチマーク」が公表され、当庫の取り組みの自主点検、自主評価のためにベンチマーク指標を活用しています。

中小企業向け融資

全取引先数 (単位：社)				メイン取引先数 (単位：社)			
3,945	うちメイン先	2,437	61.8%	2,437	うち経営指標等が改善した先	344	
全取引先残高 (単位：億円)				メイン取引先残高 (単位：億円)			
1,065	うちメイン先	741	69.6%	741	うち経営指標等が改善した先	140	
	うち保証協会付	376	35.3%				
	うち 100%保証付	52	4.9%				

メイン先とは
①借入金（役員借入金除く）のシェアが取引金融機関の中で主力である。
②売上金の入金、また決済資金のメイン取引がある。
③取引状況も一定のシェアがあり、経営指導等の関係構築が他行よりも強固である
①②③を総合的に判断して決定しています。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、資金供給者の役割のみならず、取引先企業に対するコンサルティング支援を行いました。また、企業の経営課題に応じて支援に取組み、地域経済の活性化のための資金供給や情報提供・経営相談・改善支援などを行いました。貸出条件の変更等にも真摯に対応し、資金繰りの円滑化を図りました。

① お取引先との信頼関係を深化させ、財務・定性情報に基づいた実態把握と経営課題の把握・共有に努めました。事業の持続可能性を見極め、最適なソリューションの提案に努めました。

＜経営支援先として 29 先を選定、うち新規改善支援取組み 13 先、改善計画策定 2 先＞。

② 外部機関と連携し、専門的な支援を行いました。

(単位：社)	2024 年度	2025 年度
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	15	24

外部機関・専門家等と連携した経営改善・本業支援等 157 件（兵庫県信用保証協会、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点 など）

③ 企業の経営課題に応じて、各種の中小企業支援施策を活用した支援を行いました。

(単位：社)	2024 年度	2025 年度
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	33	42
取引先の本業支援のため、他の金融機関と提携・連携した先数	1	2
取引先の本業支援のため、政府系金融機関と提携・連携した先数	16	9

●創業・新規事業開拓の支援

・事業の成長可能性を評価し、地域の活性化に向けた支援を行いました。＜創業・新事業融資 36 件 364 百万円＞
・日本政策金融公庫と連携した開業支援を行いました。＜創業関連 4 件 86 百万円＞

		2024 年度	2025 年度
当庫が関与した創業件数 (単位：件)		70	40
当庫が関与した第二創業件数 (単位：件)		0	1
創業支援先数 (単位：社)	創業計画の策定支援	3	3
	創業期の取引先への融資	58	35
	うち プロパー融資	26	8
	うち 信用保証付き融資	32	27

●成長段階における支援

・融資審査能力・目利き力の向上等の人材開発に努め、事業性評価に基づいた融資に努めました。
＜設備投資など「成長・育成」につながる新規融資 225 件 6,530 百万円＞
・新たな販路獲得の支援を行いました。
「川上・川下ビジネスネットワーク事業」新たに 2 社の企業調査の他、22 件のビジネスマッチングを実施しました。
・日本政策金融公庫と連携した支援を行いました。＜成長関連 4 件 112 百万円＞
・各種補助金の活用の支援や資金調達のアドバイスをを行いました。
＜協調した融資 1 件 22 百万円＞
・事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資審査を進めました。

●経営改善・事業再生、条件変更等の支援

・改善計画の策定や条件変更等においても、お取引先の実態と申込み内容の妥当性と実現可能性を検証し、資金繰りの円滑化支援を行いました。また、必要に応じて他の金融機関等と緊密な連携を図りました。
・貸付の条件変更先からの新規融資の申込みに対しても、改善計画の内容や債務償還能力を検証し適切に対応しました。＜円滑化関連 27 件 384 百万円＞
・中小企業者の債務者区分ランクアップ実績 38 先（うち、集中的に支援を行っている経営支援先 1 先）
・事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建や当該企業の取引先への影響を踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行いました。

●経営支援等の取組み実績（2025 年 4 月～ 2026 年 3 月）

		(単位：先数)				(単位：%)		
		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ	経営改善支援取組み率 α/A	ランクアップ率 β/α
		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α
正常先	①	3,182	2		1	0	0.1	0.0
要注意先	うちその他要注意先 ②	598	17	0	15	9	2.8	0.0
	うち要管理先 ③	20	1	0	0	1	5.0	—
破綻懸念先	④	174	9	1	7	7	5.2	11.1
実質破綻先	⑤	75	0	0	0	0	0.0	—
破綻先	⑥	17	0	0	0	0	0.0	—
小計 (②～⑥の計)		884	27	1	22	17	3.1	3.7
合 計		4,066	29	1	23	17	0.7	3.4

※「期初債務者数」は、法人・個人事業主です。
※ランクアップとは、ご融資先の財務や経営状況に応じてランク分けした「債務者区分」が経営の改善により、上位の区分に変更になることをいいます。

●事業承継への支援

・兵庫県事業承継ネットワークに参加し、事業承継診断を実施しました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

地方創生に向けた金融機関の役割を踏まえ、地域の各種団体等との連携を深めた地域活性化への貢献に取り組めました。

● 地域の各種団体等との連携

地元の地方公共団体や商工会等と連携した会議等に参加しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

お取引先の利便性の向上に向け、積極的な情報発信を行いました。

- NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、経営者向けビジネス情報サイト「Kalep（カレップ）」の提供、ビジネスに役立つ小冊子の送付など経営情報の提供を行いました。
- なかしん年金友の会「わくわく倶・楽・部」、職域先「ウキウキ倶楽部」の優待サービスを充実させ、地元観光業者の広告と販促に貢献しました。
- 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元しました。
- CS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めました。＜CSアンケート無作為抽出郵送先数2,500先、うち回答数 701先＞



● 中小企業者等の金融円滑化に向けた基本方針

当金庫は、相互扶助の理念の下、地域の中小企業者の方や個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融機関としての社会的使命を果たしてまいります。

1. 地域の中小企業者の方や個人のお客様の実態把握等を十分行い、必要で安定した資金を円滑に供給していくことが、地域金融機関の最も重要な役割であると考え、積極的な金融仲介機能を発揮していきます。
2. 事業資金や住宅資金を借入されているお客様から、条件変更等について相談や申出があった場合には、その要請を真摯に受け止め、抱えておられる課題解決に向けてきめ細かな対応を行います。
3. 経営相談や経営再建計画の要請等に対しても、十分な話し合いを行い、お客様と一体となって事業等についての改善や再生のための経営支援に取り組めます。
4. お客様からの申出について、他業態も含め関係する他の金融機関等がある場合には、他の金融機関等と緊密な連携を図りながら、地域金融の円滑化に努めます。
5. 金融円滑化に関する取り組みがより適切で有効に機能するように、組織的な管理体制や職員に対する研修・指導等についても、適宜見直しや改善をはかります。

● 金融円滑化への取り組みについて

中小企業者の方や住宅ローンをご利用のお客様からのご相談に幅広くお応えし、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努めています。

1. 金融円滑化管理に関する方針

当金庫は、地域の健全な事業を営む中小企業及び個人のお客様に対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに経営相談・経営指導及び経営改善に関するきめ細かな支援に取り組むことは、当金庫の最も重要な役割の一つであると認識し、適切なリスク管理体制の下、金融仲介機能を積極的に発揮していきます。

2. 借入条件の変更等の申込みに対する対応状況を把握するための体制

借入条件の変更等のお申込みに対する対応状況を適切に把握するため体制を整備し、お客様からのご相談・お申込みに積極的に対応しています。

金融円滑化管理体制

- ◇総括責任者…………… 理事長
- ◇管理責任者…………… 融資部担当役員
- ◇営業店責任者…………… 支店長
- ◇営業店相談窓口担当者…… 各支店融資担当役員
- ◇経営支援・苦情相談窓口… 融資部経営支援課担当者

3. 借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うための体制

借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うために、各営業店においては「金融円滑化ご相談窓口」を設けて「相談窓口担当者」を配置し、本部においては「経営支援・苦情相談窓口」を開設し、借入れ条件の変更等に係るお客様からの苦情・相談に営業店、関連部署と連携のうえ適切に対応しています。

4. 中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制

中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うために、経営相談や経営指導の専任部署として、融資部内に経営支援課を設置しており、営業店と一体となってお客様の経営の改善や事業再生の支援を行います。

● 「経営者保証ガイドライン」への取組状況

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を以下のとおり策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2025年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は562件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は33.47%、保証契約を解除した件数は0件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り）は0件です。

● 経営者保証に関する取組方針

中兵庫信用金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着していくために、以下の通り取り組みます。

- お客さまが融資等資金調達のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
- 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
- 経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。
- お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
- 事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。
- お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

以上



トピックス

若鮎募金

地域社会を担っていく子供たちを育成する一助とする目的で、誰もが気軽に参加できる地域社会貢献活動として、毎月100円ずつ役職員が募金を行っています。2025年度中に集まった募金額302,500円を三木市に寄付しました。



トライやる・ウィーク

中学生の体験活動週間「トライやる・ウィーク」。地元の中学生に、営業店での金融業務を体験していただきました。



なかしん NBC 講演会

なかしんビジネスクラブ（NBC）講演会に吉永由紀子氏を迎え、「歓動」から「感動」へ繋がるバトンと題して講演していただきました。



なかしんふるさと賞

『なかしんふるさと賞』は創立30周年を記念して創設した「なかしん地域振興基金」の記念事業として、1999年より開始しました。これまで、ふるさとの中にあつて、永年ひたむきな情熱をもって地域に貢献されている方々を表彰し、広く地域の皆さまにご紹介させていただいています。2025年10月27日に、第25回目の贈呈式に三田本部にて行いました。本年度は8の個人・団体を顕彰しました。



なかしん講演会

「折れない心」と題し、柔道家の野村忠宏氏に、オリンピック三連覇の偉業を達成された裏には、柔道一家の家庭に生まれ、体格のハンデや周囲からのプレッシャーに打ち勝つための、厳しい努力の積み重ねがあったことを、ユーモアも交えて講演していただきました。



ビジネスフェアへの参加

「あまがさき産業フェア」「兵庫県内11信用金庫マッチングフェア」に、当金庫から5社が参加されました。



SDGsへの取組みについて

中兵庫信用金庫は、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の目指す取り組みに賛同し、その達成に向けた取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



地域行事への参加

デカンショ祭参加

伝統ある地域のお祭り行事にも参加。篠山地区の店舗が合同で「なかしん連」を結成し、総踊りの輪を盛り上げました。



信用金庫の日の活動

交通立番

子供たちの通学路の交差点で、安全確保のための交通立番を行いました。



成松蛭子神社の福娘で“商売繁盛”

2026年2月、福娘として参加し、神楽鈴を振りました。



清掃活動

地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、全店一斉に店舗の周辺道路や公園・公共施設等の清掃活動を行いました。



献血

地域貢献活動の一環として三田本部において献血を行いました。



お知らせ

なかしんアカデミー

諸般の事情で大学進学することが叶わなかった当金庫職員に対し、「なかしんアカデミー」と称した通信制大学卒業資格取得助成制度を設けています。なかしんは、職員の“学び”を応援しています。



ウッディタウン支店は 土曜・日曜日も営業しています。

ウッディタウン支店は、土曜・日曜日も休まず営業しており、より親しみの持てる明るい店舗と職員の爽やかな笑顔で皆さまのご来店をお待ちしております。
平日（営業時間 9:00～15:00 まで）
土・日（営業時間 10:00～16:00 まで）
（但し年末年始・祝日は除く）



広報誌「ふれあいの発行」

身近な話題や情報を掲載した広報誌を定期的に発行しております。（年4回 春・夏・秋・冬）

